



# しばた議会だより



ちしらのトンネル  
ウキウキ気分

- 新体制スタート 議会の構成決まる..... 2・3
- 2月定例議会
  - 平成25年度当初予算を可決 ..... 4・5
  - どのように使われるか? 予算を審査 ..... 6~9
  - 子育て世代の負担軽減条例可決 ..... 10
- 議案に対する賛否・議会の出欠状況、臨時議会 ..... 11
- 一般質問(13人)・掲載できなかった質問 ..... 12~18
- 先進地に学ぶ 常任委員会行政視察研修の報告 ..... 19
- あなたの一言(加藤幸恵さん) ..... 20

新体制  
スタート

## 議会の構成決まる

議長に加藤克明議員、副議長に星吉郎議員

改選後、柴田町議会基本条例で通年議会となった初めての議会が、4月1日に開会しました。

議長、副議長を始め、各常任委員会や仙南地域広域行政事務組合議会議員など、新たな議会の構成が決まりましたので紹介します。

ごあいさつ



議長 加藤 克明 (6期目)

私たち議員18名は、町民の代表であり、住民の負託に応えることが最も重要です。

議会は、代表で構成された合議制の機関であり、議論し政策を決定していくことが必要であると考えます。

議会で唯一意見の合意形成ができる組織は、委員会です。常任委員会の充実強化を図り、政策提案ができる柴田町議会となるよう鋭意努力します。

また、多様化する町民ニーズや山積する課題に対し、町執行部と議会が一体となり、柴田町の更なる発展と住民生活福祉の向上を図り、中立公正の立場で対処します。

住みたい町、住んで良かった町、安心安全な柴田町を目指してまいります。

ごあいさつ



副議長 星 吉郎 (5期目)

柴田町議会は、開かれた議会を目指し、議会改革に取り組んできました。昨年12月に制定した議会基本条例もその一つです。この条例で、議員の役割と組織、権限と機能、議員の責務等を明確にしました。

また、議会をもっと知っていただくために、平成19年から毎年、地域に向向いて議会懇談会を実施しております。この懇談会では、子育て支援、高齢化社会に向けた福祉の充実、地域格差の是正など、山積している地域の課題や要望がたくさん出されました。

私は、これらの課題や要望に対し、議員が一人丸となって対処し、町に対して政策提言ができるように努力するとともに、副議長として議長を助け、柴田町議会の和を築いていきます。

## 文教厚生 常任委員会



委員長  
ふなやま あきら  
**舟山 彰**  
(4 期目)



副委員長  
ありが みつこ  
**有賀 光子**  
(3 期目)



よしだ かずお  
**吉田 和夫**  
(1 期目)



しらうち えみこ  
**白内恵美子**  
(4 期目)



わがつま ひろくに  
**我妻 弘国**  
(4 期目)



ほし きちろう  
**星 吉郎**  
(5 期目)

## 総務 常任委員会



委員長  
たかはし こ  
**高橋たい子**  
(2 期目)



副委員長  
ひろさわ まこと  
**広沢 真**  
(3 期目)



さくらば まさゆき  
**桜場 政行**  
(1 期目)



さいとう よしかつ  
**斎藤 義勝**  
(1 期目)



ひらま なおみ  
**平間奈緒美**  
(2 期目)

### 議会運営委員会

委員長 水戸 義裕 副委員長 安部 俊三  
委員 舟山 彰 委員 広沢 真  
〃 高橋たい子 〃 佐々木 守

### 議会広報常任委員会

委員長 安部 俊三 副委員長 平間奈緒美  
委員 平間 幸弘 委員 桜場 政行  
〃 吉田 和夫 〃 秋本 好則  
〃 斎藤 義勝

### 仙南地域広域行政事務組合議会議員

加藤 克明 舟山 彰

### みやぎ県南中核病院企業団議会議員

加藤 克明 白内恵美子 水戸 義裕

### 宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員

有賀 光子

### 議会選出監査委員

我妻 弘国

## 産業建設 常任委員会



委員長  
ささき まもる  
**佐々木 守**  
(2 期目)



副委員長  
ささき ゆうこ  
**佐々木裕子**  
(2 期目)



ひらま ゆきひろ  
**平間 幸弘**  
(1 期目)



あきもと よしのり  
**秋本 好則**  
(1 期目)



あべ しゅんぞう  
**安部 俊三**  
(2 期目)



みと よしひろ  
**水戸 義裕**  
(3 期目)

# えて

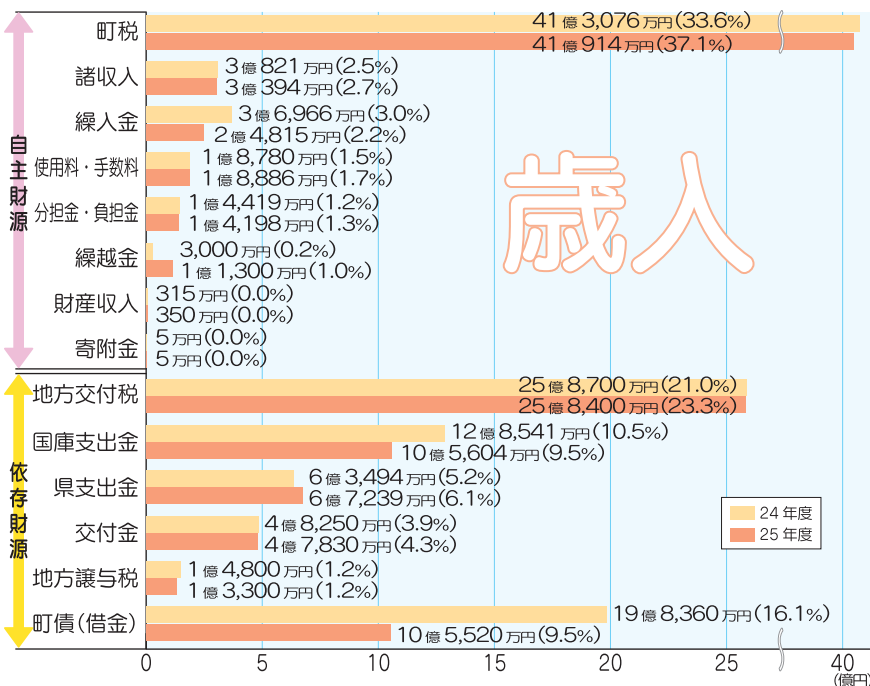
一般会計 110 億円など、  
総額 208 億円の予算で

# スタート

平成 25 年 2 月議会は 2 月 18 日から 28 日までの日程で開かれ、平成 25 年度の予算の審議を行いました。110 億円の一般会計をはじめ国民健康保険事業特別会計予算、公共下水道事業特別会計予算、介護保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、土地取得特別会計予算、水道事業会計予算それぞれが賛成多数で可決されました。

## 新たに始まる事業

- 地域計画に基づく「地域づくり補助金制度（平成 25 年 4 月）」
- 後期基本計画策定基礎調査事業（平成 25 年～平成 26 年）
- 防災拠点施設（総合体育館）基本計画策定（平成 25 年～平成 26 年）
- 船岡新栄 5 号公園整備（平成 25 年）
- 榎木中学校校庭整備工事（平成 25 年 9 月頃）
- 花き生産販売戦略対策事業（平成 25 年～）
- ほ場整備事業基本計画事業（平成 25 年～平成 27 年）
- 地産地消推進野菜周年栽培施設補助事業（平成 25 年～平成 27 年）
- 子ども医療費助成枠の拡大（平成 25 年 10 月）



## 各会計の当初予算額

会計区分	平成 25 年度	平成 24 年度	
一般会計	110 億 8,756 万円	122 億 9,528 万円	
特別会計	国民健康保険事業	40 億 6,146 万円	39 億 204 万円
	公共下水道事業	16 億 6,410 万円	13 億 4,173 万円
	介護保険	23 億 8,099 万円	21 億 9,414 万円
	後期高齢者医療	3 億 4,437 万円	3 億 3,578 万円
	土地取得	956 万円	—
水道事業会計	13 億 4,669 万円	13 億 5,468 万円	
予算総額	208 億 9,473 万円	214 億 2,365 万円	

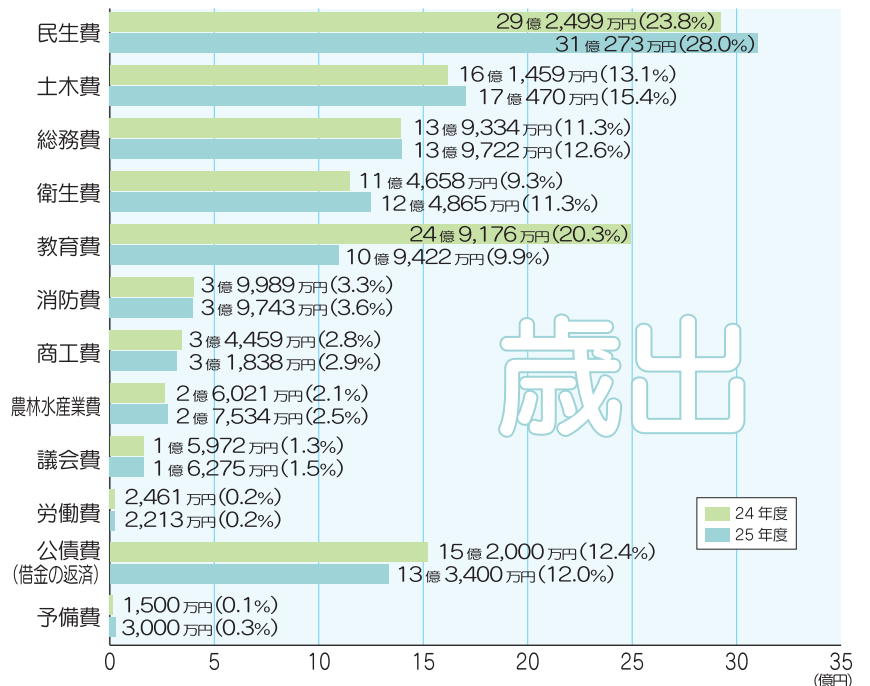
平成 25 年度  
予算可決

# 町民の信託に応

住民意見の代表として検証と評価



年間を通して野菜がいっぱい（さくらの里）



特別委員会

# うに使われているか

## 歳入

2月22日に予算審査特別委員会を設置し、25年度の一般会計、特別会計及び水道事業会計について審査し、2月27日に終了しました。審査内容の一部を紹介します。

### 幼児型児童館 使用料は

**質疑** 児童館使用料の減額の内容は。

**答弁** 26年度から、幼児保育型児童館の廃止に伴い、5歳児のみで運営していくことになるため、使用料が減額となっている。

### 高齢者の 使用料は

**質疑** 社会教育施設使用料に対し、高齢者が利用しやすいように免除申請はできないのか。

**答弁** 使用料の適正化について、今後検討していく。

### 固定資産税減額の 原因は

**質疑** 固定資産税が6千492万円減額した原因は。

**答弁** 固定資産税は、土地、家屋、償却資産で評価している。

減額の原因は、土地の評価額が2・1割下がっていること。建物は新築住宅として、通常3年、優良住宅では5年の軽減特例があること。償却資産は、設備投資が冷え込み、減価となっていることがある。

ただし、今後、町内大手企業の設備投資があるので、来年度には増税が見込まれる。



いつも笑顔で明るい対応（町民環境課）

### 職員数は

**質疑** 25年度の職員数は。

**答弁** 退職者は15名、新規採用は12〜13名。各課には、25年度の震災対応緊急雇用対応で、11事業85名を予定している。

## 総括質疑



大坂三男 議員

### 問

平成25年度からの財政運営と待機児童問題や観光事業への取り組み

(1) 平成24年度に借金が約10億円増えたが、今後の財政に問題はな

(1) 槻木中学校の改築事業と北船岡町営住宅の2号棟建設で、見かけの借金残高は増えたが、償還金は年々低下していくため資金繰りに問題はない。

(2) 国家公務員の給与カットが地方にも波及しているが、柴田町は過去に実施済みなので今回は行ふべきではない。

(2) 平成19・20年度の財政再建における給与削減も考慮し、6月議会までに結論を出す。

(3) 町の子育て支援策の課題は、3歳未満の待機児童の解消である。どう取り組むのか。

(3) 町立保育所の増築や家庭的保育への支援などに努めていく。

(4) 平成25年度の政策目標に、観光まちづくりや食による町おこしへの積極的な取り組みが示された。今後全国に向けて情報発信が行われると思うが、具体的な戦略や住民との協力体制をどうするのか。

(4) 今年は、仙台・宮城・デイスティネーションキャンペーンにあわせて柴田の観光PRを積極的に展開する。また観光物産協会と農工商の連携で、新たな特産品の開発や旅行商品の開発を図っていく。

# あなたの税金はどのよ

## 補聴器・一部助成へ (18歳未満対象)

**質疑** 難聴児補聴器購入助成事業の中身は。

**答弁** 対象者が身体障害者手帳の交付対象とならない程度、中程度難聴者児、障がい児で18歳未満に限り、補聴器購入の一部を助成する制度となる。

## 阿武隈急行の 利用促進を

**質疑** 阿武隈急行利用促進補助事業とは。

**答弁** 阿武隈急行沿線自治体の丸森町・角田市・柴田町で、阿武隈急行の利用促進に向けて計画している。

柴田町では、グループ運賃助成、車両のラッピング、秋ウォーキングを開催するなど、おもてなしを強化していく。

## 滞納者対応は

**質疑** 滞納者に対しての取り組みは。

**答弁** 差し押さえに対しては年々強化している。滞納整理組合と連携をとり、回収効果を上げている。23年度では不動産の差し押さえは10件、24年度も同等数行っている。

## 子育て支援事業は

**質疑** 子育て支援交付金の内容は。

**答弁** 5つの事業に対して交付される。

主なものとして、「地域子育て支援拠点事業費」「子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業」などがある。

「子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業」は新たな事業で、児童虐待の発生防止や早期発見、早期対応を図ることを目的としている。



阿武急にのって

## 総括質疑

**問** 教育環境の整備に全力を挙げて取り組むべきは

未来を担う子どもの教育に力を注ぐことは、町の最重要課題である。

各小中学校の教育環境は、子どもが学ぶ環境として十分だろうか。学校図書館の整備は遅れており、子ども議会では船岡小学校校舎の壁の汚れを指摘された。

校舎の改修は財政が厳しいからと後回しにしてきたが、子どもの学習意欲向上のためにも、改修に全力を挙げて取り組むべきだったのではないか。

常に子どもの視点を忘れずに、子どもの最善の利益を最優先に考えていただきたい。

**答** 学校施設整備に全力を投入していく

平成18年に財政危機に直面し、財政再建を最優先にしたため、学校整備ができなかった。しかし、この3年間で約27億円を投資し、順次整備してきた。

平成26年度に船岡小学校の大規模改造工事の設計を委託し、27年度に工事に着手する。

保健室へのエアコン設置は、3月の臨時議会で補正予算を提案する。国の平成24年度補正予算で多くの交付金が確保できれば、全ての学校図書館職員室等にエアコンを設置していく。

今後も学校施設整備に全力を投入していく。



白内恵美子 議員

# 歳出

## 参加しやすい形を

**質疑** まちづくり提案制度の現状は。

**答弁** 24年度は3件の提案があり、うち1件採択された。

今後は、まちづくりに取り組みたい少額提案を、新たな制度として設ける。提案制度の反省を踏まえ、参加しやすい方法をとおり、PRに努め、参加できる土壌をつくっていく。

## 災害に備えて

**質疑** 災害備蓄はどうなっているのか。

**答弁** 各行政区に非常食やレトルト食品を入れ替え、各小中学校に毛布の配布を予定している。

## 今後の地域の将来像は

**質疑** 地域計画の進捗状況は。

**答弁** 地域によって進捗状況にばらつきがある。地域計画に基づいた地域づくりのためのコーディネート者を、新たに

専任の集落支援員として派遣する。

## LED化に向けて

**質疑** 防犯灯の設置は。

**答弁** 25年度は102基を予定している。みやぎ環境税を活用し、26年度までに400基をLED化していく。

## 町からの情報発信は

**質疑** 地域の細かな情報町からの情報発信はどうなっているのか。

**答弁** 携帯電話のメール配信サービスを随時登録してもらい、地域の情報発信、災害、イベント、野生動物情報など身近な地域限定の情報発信にさらに努める。

## ごみ減量化にご協力を

**質疑** 昨年7月よりスタートしたごみの有料化で、ごみの削減は進んだのか。

**答弁** 有料化によりごみの量は若干減少した。今後は仙南2市7町で取り組み、ごみ削減に向けて町民の協力を求めていく。

## 高齢者の安全運転対策

**質疑** 高齢者の安全運転対策は。

**答弁** 65歳以上を対象に、交通事故の認識や高齢者特有の機能などについて受講してもらう。受講費の半額を助成する。

## 26年度オープンに向けて

**質疑** (仮称) 船迫子どもセンターの進捗状況は。

**答弁** 船迫児童館の利用者や職員で協議を重ね、実施設計を経て、平成26年4月オープンを予定している。

## 空き店舗を若い起業家に

**質疑** 空き店舗を活用した起業家支援事業の詳しい内容は。

**答弁** 高齢化や後継者難によって増加している空き店舗を活用し、起業を志す町民に支援を行い、商店街の活性化を図るものである。今年、調査研修会を予定している。商工会への補助となる。

## 未熟児対策は

**質疑** 新事業の未熟児養育医療扶助費とは。

**答弁** 未熟児養育医療扶助費は、2千円以下の子



まちづくりについて熱心な話し合い (匠まつり実行委員会)



高齢者講習中



ごみ減量化にご協力を



里帰り出産に

**質疑** 里帰り妊婦健康診査助成金は昨年と同額だが、25年度をどうみるか。  
**答弁** 25年度も引き続き妊婦健康診査助成をしていく。

企業誘致は

**質疑** 新たな企業誘致をどう進めていくか。  
**答弁** 町の促進奨励金、県の復興特区などを企業に紹介し、企業誘致を進めていく。  
**質疑** 24年度企業立地の現状は。  
**答弁** 新たに3社を誘致した。

年間を通し、  
安定的な出荷を

**質疑** 地産地消推進野菜周年栽培施設補助とは。  
**答弁** 25年度に新設された事業で、産地直売所で販売している農家が対象



新たな名所「桜坂」(船岡城址公園)

太陽の村  
再生計画は

である。野菜が収穫できない時期に、ビニールハウスで栽培できるような農家に費用の2分の1を補助する制度である。  
**質疑** これからの「太陽の村」をどう考えるか。  
**答弁** 「太陽の村」活性化に向けて、食水面、宿泊面、多くの方に来ていただくための施策を、職員、物産観光協会等で協議していく。

利用しやすい  
図書室へ

**質疑** 学校図書室の図書管理システム導入の進捗状況は。  
**答弁** 24年度で楳木小学校2校に導入した。25年度は、船岡小学校、柴田小学校に導入していく。

公園遊具の  
更新は

**質疑** 公園遊具更新事業とは。  
**答弁** 公園8カ所の遊具更新を計画している。内容は、スプリング遊具、2方向のブランコ、滑り台などを更新する予定。

これからの  
桜育成は

**質疑** しばたの桜100年計画策定委託は。  
**答弁** 美しい桜整備委託として、2年計画で台帳整備を進めてきた。今後はそれを生かしながら、桜の保護、新たな桜の植え替えなどについて検討していく。

雨水対策は

**質疑** 雨水対策はどうなっているか。  
**答弁** 太陽の村入口や農協葬祭会館付近など、トータルで4千308万円を計上し、今後取り組んでいく。

負担軽減へ

**質疑** 幼稚園就園奨励費補助の詳しい内容は。  
**答弁** 町内外の私立幼稚園に通園している家庭に補助をしていく。

柴田球場照明塔  
を修繕

**質疑** 保健体育施設費の修繕料325万円は。  
**答弁** 柴田球場の照明塔4塔のうち最後の1塔を修繕する。

里山ハイキング案内  
養成講座開講へ

**質疑** 楳木生涯学習センターの25年度の事業計画は。

鷺沼排水整備  
が始まる

**答弁** 食育推進事業のほか、新たに成人教育振興として里山ハイキング案内養成講座を計画している。  
**質疑** 鷺沼排水区雨水整備は。  
**答弁** 25年度の計画として、清住2号公園隣の農地に調整池の詳細設計を実施する。



求められている雨水対策

# 町独自の施策 子育て世代の負担軽減へ

## 柴田町災害見舞金制度開始 4月1日

東日本大震災のような大きな災害で被災された方への生活再建については、国・県の支援制度が整備されています。今回の条例制定は、災害救助法などが適用されない火災・風水害・地震などの災害に対し、町独自の見舞金制度を設けたものです。

**見舞金支給の手続きは**  
**質疑** 見舞金なので速やかな支給が望まれるが、どのような手続きになるのか。  
**答弁** 申請による手続きではない。町で現地調査をし、必要な書類を提出していただき、被害程度及び金額を確定して、支給することになる。

災害見舞金	
全壊、全焼、流失した場合	5万円
半壊、半焼した場合	3万円
床上浸水した場合	2万円

## 子ども医療費、中学3年生まで無料化へ 10月1日

子どもの適正な医療機会の確保と、子育て家庭における経済的負担の軽減を図るもので、中学3年生まで通院・入院費を助成するものです。

**手続き方法は**  
**質疑** どのような手続きになるのか。  
**答弁** 10月1日の実施に向けて、学校を通して、受給者証を登録するための申請の通知をする。9月中に受給者証を交付していく。

**所得制限はあるのか**  
**質疑** 今までの制度と同様、所得制限はあるのか。  
**答弁** 所得制限はある。子ども医療費助成について、若い子育て世代の経済的負担軽減を図るために設けたもので、所得制限を続けていく。

平成25年2月議会では、柴田町住民投票条例、柴田町災害見舞金支給条例、食と農のまちづくり条例、そして子ども医療費の助成に関する条例の一部改正などが提案され、原案のとおり可決しました。平成24年度補正予算では、船迫小学校大規模改造事業、災害復旧工事などが増額補正され、原案のとおり可決しました。

## 柴田町住民投票条例

### 概要

一定の要件を満たせば住民投票ができる常設型の制度。

### 特徴

- 1) 住民請求の署名者数の50%
- 2) 投票資格者総数の1/2
- 3) 1(議会の議決は必要)
- 4) 投票資格者総数の4分の1(議会の議決は不要)
- 5) 2(開票について)
- 6) 投票資格者総数の2分の1に満たない場合は開票しない。

## しばた食と農のまちづくり条例

### 概要

農業・農村の地域資源を活用し、食と農のまちづくりを目指すための指針とするもの。



ザイルクライミングで遊ぶ子どもたち(船岡新栄4号公園)

**デマンド型乗合タクシーの現状は**

**質疑** デマンド型乗合タクシーの利用状況は。

**答弁** 1月現在で5千351人の利用があり、1日平均利用者は44・6人となっている。

**優先開設避難所に船岡体育館**

**質疑** 防災備蓄倉庫設置はどこになるのか。

**答弁** 船岡体育館に設置する予定。4月1日から船岡体育館が優先開設避難所となる。

## 平成24年度 補正予算

会計区分	補正額	補正後の額	
一般会計	1億2,452万円	136億9,215万円	
特別会計	国民健康保険事業	4,124万円	43億6,552万円
	公共下水道事業	5,967万円	12億8,076万円
	介護保険	▲3,067万円	22億3,895万円
	後期高齢者医療	242万円	3億2,530万円

## 請願

「東北電力女川原子力発電所の再稼働を行わないことを求める意見書」

総務常任委員会付託となり、閉会中の継続審査と決まりました。

## 人事案件

○ 固定資産評価審査委員の選任に同意



佐藤 英世氏(新任)  
(西船迫一丁目)

# 本会議出欠状況・議案等審議結果

## ●本会議出欠状況

区分	主な内容	月	出席者数(人)	平間 泰純	佐々木 裕子	高橋 たい子	安部 俊三	佐々木 真	佐々木 光	水戸 義裕	有賀 光	森 淑子	大坂 三男	舟山 彰	星 吉郎	加藤 克明	大沼 博義	白内 恵美子	我妻 弘国		
本会議	町政報告・施政方針・一般質問	2/18	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般質問	2/19	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般質問	2/20	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	条例審議	2/21	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	補正予算(追加)	2/22	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	正副委員長の互選等	2/22	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予備審議	2/25	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予備審議	2/26	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予備審議	2/27	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予備審議	2/28	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	予備審議	3/15	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## ●議案等審議結果

区分	件名	議決月日	議決者数(人)	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人					
本会議	固定資産評価審査委員の選任について	2/20	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
	柴田町住民投票条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
	柴田町災害見舞金支給条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	しばた食と農のまちづくり条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	地域社会における共生の実現に向けて新たな障害福祉施設を講ずるための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町防災会議条例の一部を改正する条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町災害対策本部条例の一部を改正する条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町道の構造の技術的基準等を定める条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町移動等円滑化のために必要な町道の構造に関する基準等を定める条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準等を定める条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町都市公園条例の一部を改正する条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	柴田町営住宅条例の一部を改正する条例	2/21	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 24 年度柴田町一般会計補正予算	2/22	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 24 年度柴田町特別会計補正予算(国民健康保険事業、公共下水道事業、介護保険、後期高齢者医療)	2/22	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 24 年度柴田町水道事業会計補正予算	2/22	16	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度柴田町一般会計予算	2/28	15	13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度柴田町特別会計予算(国民健康保険事業、公共下水道事業、介護保険、後期高齢者医療、土地取得)	2/28	15	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成 25 年度柴田町水道事業会計予算	2/28	15	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23 都災第 2804 号下水道災害復旧工事請負変更契約について	2/28	15	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23 都災第 2806 号下水道災害復旧工事請負変更契約について	2/28	15	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地方自治法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例	2/28	15	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
柴田町議会会議規則の一部を改正する規則	2/28	15	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地方自治法第 180 条第 1 項の規定に基づく町長の専決処分指定事項の一部改正	2/28	15	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
石油製品高騰への特別対策と石油製品の適正価格・安定供給の実現を求める意見書	2/28	15	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成 24 年度船泊小学校大規模改修工事(債務負担行為) 請負変更契約について	3/15	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
平成 24 年度柴田町一般会計補正予算	3/15	16	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

区分	主な内容	月	出席者数(人)	平間 幸弘	坂場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	高藤 義勝	平間 泰純	佐々木 裕子	高橋 たい子	安部 俊三	佐々木 真	佐々木 光	水戸 義裕	有賀 光	森 淑子	大坂 三男	舟山 彰	星 吉郎	加藤 克明	
本会議	各種選挙・監査委員の選任等	4/1	18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

区分	件名	議決月日	議決者数(人)	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	賛成人	
本会議	監査委員の選任について	4/1	16	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表しています。  
 ※議長は予算審査特別委員にはなりません。  
 ※平成 25 年 4 月から通年議会が始まり、会議の呼び名も〇月会議となりました。

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表します。  
 ※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表します。  
 ※紙面の都合上、特別会計については、まとめて表示しています。なお、ホームページでは、議案ごとに表示しています。

3月15日臨時議会  
 平成 24 年度  
 補正予算

# 補正額 6 億 8,892 万円

# 過去最高一般会計予算額 143 億 8,107 万円

補正予算の主な内容		
管理費	3 億 3,250 万円	測量調査設計委託 道路構造物点検委託 町道八入 13 号線外舗装修繕 町道入間田 14 号線道路改修工事 町道船岡東 43 号線道路改修工事
総合交付金	3 億 480 万円	公園施設整備工事 白石川堤外地環境整備工事 (仮) さくら連絡橋建設工事 公園施設更新工事など
教育費	4,409 万円	槻木中学校校庭整備事業 (設計費委託を含む)

第 1 回臨時議会が平成 25 年 3 月 15 日に開催され、国の緊急経済対策に伴い、「地域の元氣臨時交付金」に「対し、24 年度事業として計上しました。

**各小中学校に エアコン設置へ**

**質疑** 小中学校へのエアコン設置の詳しい内容は、**答弁** 当初保健室のみの設置を予定していたが、図書室・事務室・職員室にもエアコン設置を含めると、国の交付金の対象事業となるため、現在申請を進めている。



平間奈緒美 議員

**Q** 「はなみちゃん」プロジェクトチームを立ち上げては

**A** 学生・企業及び町の若手職員等を中心にプロジェクトチームを発足する



活躍する「はなみちゃん」

**問** 「はなみちゃん」によるまちおこしや地域振興にどう取り組むのか。

**答** キャラクターは町の宣伝だけでなく、地域のイベントにおいて盛り上げ役や、町民から未永く愛されるような活用を図っていく。今後も積極的にイベントへの参加などを増やしていく。

また、キャラクターデザイン使用は許可制だが、地域団体からの申し出があれば、より使用しやすいようにデザイナーが

を提供するなど、一層協力していく。さらに観光物産協会の考案するお土産グッズや地元企業の製品やパッケージへのデザイン仕様の活用は、商工会を通じて促していく。

**問** はなみちゃんを特別町民として迎え、誰でも取れる特別住民票発行を検討してはどうか。

**答** ご当地キャラクターを有する多くの自治体では、特別住民票を交付している。本町でも、はなみちゃんに特別住民票を

交付する。4月の桜まつりまでに、町のHPからダウンロードできるよう進めていく。

**問** プロジェクトチームを立ち上げては。

**答** 学生・企業及び町の若手職員等を中心にプロジェクトチームを発足し、地域活性化と交流人口の増加を目指す観光まちづくりには、若い世代の意見を

**問** 並松町営住宅向かいのラーメン店脇からヨークベニマル方面に通っている町道は、狭く危険。住民から「車の通行量が増え、孫が学校の帰り車をよけようとして用水路に落ちそうになった」と言われた。学校や町は、この危険な状況を把握しているのか。

**答** この道路は児童の安全確保が難しいことから通学路とはしていない。通学の時に近道する児童がいる場合、再度学校に

**問** 七作用水路にようやくふたがされたが、これも住民から「子どもたちの安全確保」という要望を私が何度も言いつて実現したもの。町内で危険な状況にある通学路について、何力所か具体的に挙げてほしい。

**答** 去年の緊急点検の結果、最優先対応箇所は3カ所と捉え、安全確保の措置を実施。1つは町道富沢16号線。残る2つは、

**問** 国道4号線バイパスの地地道である。

**問** ときおり親や祖父母から子どもたちの通学路の危険性について訴えられる。学校は、子どもたちの通学の状況をよく聞いているのか。町もその状況の把握にどのくらい努めているのか。

**答** 学校は通学路経路調査書も配布し、保護者からの意見聞き取りで状況を把握している。

**Q** 通学路の安全確保を改めて問う

**A** 学校は保護者からの意見聞き取りで状況を把握



舟山 彰 議員



安全が確保された通学路（七作）



森 淑子 議員

**Q** 保育所の  
保育料引き下げを

**A** 近隣自治体の  
動向を見て検討



「これな〜に？」(船岡保育所)

**問** 労働人口が減少する社会において、担い手としての女性が子育てしながら働ける環境をつくることは最重要課題である。子どもを産みにくい、育てにくいという不安を少しでも解消するために、子育て支援について伺う。

**答** 国、近隣自治体の動向を見て検討していく。

**問** 待機児童の受け皿としての保育ママ制度の状

況は。国の制度の中では進まないのではないかと。国の新制度では保育ママに関しての措置が大分緩和されるようなので、それに合わせて今後見直していく。

**問** 幼児型児童館の廃止に伴い、行き場が無くなる障害を持つ児童の居場所はどうなるのか。

**答** 第一幼稚園に枠を確保。また私立幼稚園での受入れ方を検討する。

**問** 社会福祉法人等が町にデイケア施設を計画し

た場合、支援できるのか。

**答** 事業者から話があれば相談に応じる。

**問** 西住児童館、三名生児童館の建て替え計画は。

**答** 平成26年度から建て替えを計画している。

**問** 船岡・槻木にも自由に来館できる児童館が必要ではないか。

**答** 児童館の動向や児童館のあり方を検討し、建設に向け基本計画の策定を考える。



水戸義裕 議員

**Q** 町は情報を正しく  
分かりやすく、  
公開から提供へ

**A** 多様な方法で  
町政に反映するよう努める



工事看板も情報発信のひとつ

**問** 行政だけが公共的公益的な社会サービスを担うのではなく、町民と行政がそれぞれの分野を整理し、協働によって公共を担うべきである。町民参加には的確な情報が必要で、行政の説明責任と情報公開が求められる。町民も自ら考え実行する自立した町民に脱皮する必要がある。そのための情報発信が必要だ。情報の発信のまちづくりについての考えを伺う。

**答** 町の情報の範囲は、

文書、図書、写真等一切の情報媒体等で、保有・保管するものと定義。事務文書の処理が終了し、議会での手続き終了後は、情報公開の対象としている。それ以前の公開は、町民に無用な混乱を招く懸念から公開はしない。

**問** 情報発信によるメリットをどう考えるか。

**答** 町の動きを知らせることで町政への関心が高まり、関わりや参加が多くなる。正しい情報は行政への信頼を深める。今

後、広報の充実と企画力や発信力を高めていく。

**問** 昨年末、町の情報提供を問題視する動きがあった。公開から提供への姿勢と町民の声を反映させる町の考え方を伺う。

**答** 新しい情報発信は広報紙だが、時間的ズレが出る。創意工夫が不足したとかの一方で、住民も情報を得る努力が必要との声もある。今後とも多様な方法により、町民の意見を反映させて行く。



大坂三男 議員

Q 冠水対策と道路整備の今後の計画は

A 個々のスケジュールは地域別に説明する



進む稲荷山用水路分水門工事

大震災の復旧工事が進んでいるが、震災前からの冠水対策や道路整備の課題も多数残っている。今後の計画について具体事案を示して質問する。

**問** 鷺沼排水区雨水対策事業の進捗状況は。

**答** 平成25年度は、調整池の詳細設計と下流側JR東北線と県道間80区間の水路改修工事を行う。

**問** 同事業の中で側溝整備を併せてできないか。

**答** 国補助の下水道事業のため同時にはできない

が、別事業で考える。

**問** 槻木市街地の冠水対策は、稲荷山用水路分水門の他は何をするのか。

**答** 国道4号バイパスの排水路の新設や南浦排水路の拡幅が必要だが、当面は槻木郵便局付近の側溝改修を行う。

**問** 西船迫地区の上野林道からの流出水対策は。

**答** 雨水管への流入口のごみ撤去と集水桝の改良である。

**問** 「工業団地内道路、中名生周辺、槻木3・4

72、富沢16、四日市場北14号線」の道路整備は。

**答** 工業団地内道路は、平成24年度補正で対処。中名生周辺の道路と側溝整備は、今後検討。槻木3・4号線の道路舗装は、25年度予算で実施。富沢16号線は、用地買収が進み、軟弱地盤対策に入る。四日市場北14号線の拡幅は、地権者と交渉中。

**問** 槻木千間堀踏切の取り付け道路の拡幅は。

**答** 変則交差のため拡幅は困難。路肩補修で対処

昨年11月「第1回柚子フェア」が開催され、好評を得たことは喜ばしいことである。

町内の菓子店や、はらから福祉会でも商品化が始まり、特産品「雨乞の柚子」の本格始動かと思う。

**問** 菓子店への柚子の供給はどうなっているのか。

**答** 平成23年度に特産加工品開発事業を実施したことで、柚子生産者と菓子店が知り合うきっかけとなった。生柚子とピー

ルやペーストなどの一次加工品があり、町内の菓子店やはらから福祉会に対し、柴田町観光物産協会が生産者と一次加工業者とのパイプ役となり、支援している。

**問** 収穫量の少ない年や不作の年の対応は。

**答** ピール、ペースト、粉末として商品化している。これらの商品は2年間使用可能なので、豊作の年に多めに加工することで柚子酒やケーキなどの原料として、不作の年

でも対応できるものと考えている。

**問** 生柚子の量の確保をどのように考えているのか。

**答** 入間田地区で柚子を栽培している生産者も加えてもらい、仮称「雨乞の柚子生産組合」を立ち上げ、生産拡大と産地化を図り、ある程度の量の確保ができる施策を推進する。

Q 期待される特産加工品「雨乞の柚子」の今後は

A 仮称「雨乞の柚子生産組合」を立ち上げる方向



高橋たい子 議員



たわわに実った 雨乞の柚子



白内恵美子 議員

**Q** 3町共同給食センターは十分に議論を

**A** 意見交換により理解を深めていく



柴田町学校給食センター

「3町共同学校給食センター」建設可能性調査報告」を受け、質問する。

**問** 共同で行えばコストは少なく済むが、デメリットを検討したのか。

**答** デメリットは、配送時間がオーバーする、県費による栄養士派遣人数が減る（6人が3人に）、7千食もの地場農産物の確保が困難、故障で給食提供ができない場合に対象者が多くなること。

**問** 何故これまで柴田町給食センターの建て替え

の要望がなかったのか。

**答** 建て替えや大規模改修の要望は出ていたが、用地取得と建設費の負担が大きいため、財政再建の一定のめどがつくまで延命策を取っていた。

**問** 今までどのような故障が起きたのか、給食提供への支障は。

**答** 機器等が老朽化しているために、どこが故障するか分からない状況。1月に揚げ物機の故障により和風メンチカツを取り止め、レトルトの肉団

子に変更した。

**問** 単独か、共同かについては、将来に禍根を残さぬよう十分な議論が必要。講演会や研修会の開催を提案する。

**答** 現時点は、調査報告の内容を町民の皆さんに説明する時期。初めから単独か共同かの議論ではなく、意見交換により現状と課題、解決策が理解されていく。

その後には給食や食についての理解を深める機会として講演会等を検討する。

私は平成23年9月にペットのフンや、落書き、空き家の荒廃などの環境問題の質問をした。この時の答弁は、第2次柴田町環境基本計画策定の中で、平成24年3月までに計画を完了させるとのことだった。

その後、大坂議員が空き家対策条例に絞って質問している。この答弁では、ふるさと環境町民会議から平成24年1月に町長への提言という形で、条例の制定が求められる

いるとのことだ。

**問** 提言の内容はどういうものか。

**答** 条例制定の前に、環境指導員の増員と指導体制の強化などに取り組み、平成27年度においても現状が改善されない場合、条例制定を目指すとなっている。

**問** 条例ができれば解決というほど簡単ではない。防止策や対処の方法も、あわせて考えるべきではないか。

**答** 空き家などの現状を

把握するため、行政区長等の協力を得ながら、現地調査、現状を把握し、適正管理について指導強化と並行して改善策も検討していく。

**問** 町の環境として、美観も大切。特に、国道や県道が汚い。パトロールはしているのか。

**答** 都市建設課と連携し、国道維持出張所、県土木事務所へ連絡し、対処していただいている。

**Q** 環境条例の策定は進んでいるか

**A** ふるさと環境町民会議の意見も聞きながら取り組む



佐久間光洋 議員



道路の美観も大切



佐々木守 議員

**Q** 仙南広域都市計画区域で特に重点を置いている分野は

**A** 「花のまち柴田」を前面に打ち出し、観光産業に重点を



日本さくら名所100選の船岡城址公園と白石川の桜

**問** 仙南広域都市計画区域で、農林業や商業・サービス業、製造・流通業及び観光関連産業などのうち、現在、町ほどの分野に特に重点を置いているのか。

**答** どの市町も人口減少や少子高齢化など、抱える課題は共通している。仙南広域都市計画の将来像を「地域の魅力を高め合い、圏域内外の人と文化が交流する」県南部の広域生活圏の形成として

打ち出し、観光に結びつく農業や地域商業の振興に取り組んでいく。今後さらに県内外に柴田町の良さや元気をアピールしていききたいと考えている。

村井宮城県知事が東日本大震災の復旧・復興を図るため観光に力を入れて4月からの仙台・宮城デステイネーションキャンペーンを実施し、宮城を元気にする旨の発言をしている。柴田町においても、さまざまな事業のバランスをとりながら、地域資源に磨きをかけて、「花のまち柴田」を前面に

打ち出し、観光に結びつく農業や地域商業の振興に取り組んでいく。今後さらに県内外に柴田町の良さや元気をアピールしていききたいと考えている。

**問** 町で計画している観光誘致プランは。

**答** 松島や蔵王と違うコンセプトで取り組む。今はガーデンングやスポーツ、ウォーキングなどがブームであるので、これを新たな観光の切り口のプランと考えている。



広沢 真 議員

**Q** 年をとっても安心して住み続けられる町に

**A** 高齢者のライフスタイルにあったまちづくりを検討



今日も愛車でお買い物

**問** 今後、平成30年には柴田町は65歳以上の高齢者の割合が3割に達する。それに伴い、日常の買い物に不自由する町民が増えていく。この問題をどうとらえるか。

**答** 高齢者の増加と商業機能が郊外の幹線道路沿いに移ることによって買い物難民が発生している。高齢者が自由に買い物に行けないと日常の食料品などが十分に手に入らなくなり、健康を害する恐れがある。また医療や介

護のように公的な制度が整備されていないため、今後、社会的課題として取り組んでいかなければならない。

**問** 現在でも多い高齢者の独り暮らしや夫婦二人世帯の状況はどう変わるか。

**答** 今後、団塊世代の高齢化に伴い増加していく傾向にある。

**問** 今後、高齢者の買い物難民対策をどう進めるか。

**答** 買い物難民対策には

大別して4つの方法がある。

①食料品などの宅配、②買い物の足の確保、③移動販売などを走らせる、④高齢者の住む近くに商店をつくる、あるいは既存の商店を維持する。

柴田町では、事業を開始した「はなみちゃん号」を買い物や通院に使いやすいようにしていくとともに、地域の支えあいでも、地域の支えあいで小売店を守り、買い物難民対策を進めていく。





安部俊三 議員

Q 「サービス付き高齢者向け住宅」制度の推進を

A 超高齢社会に必要な住宅制度のPRに努める



角田市横倉のサービス付き高齢者向け住宅

県政だより1月号にサービス付き高齢者向け住宅制度が紹介されていた。この制度を活用した施設は、本町では設置されていない。

問 サービス付き高齢者向け住宅制度とは、どのようなものなのか。

答 高齢者が安心して生活できるよう配慮された民間の賃貸住宅である。

問 どのようなサービスが受けられるのか。

答 基本サービスとして、定期的な安否確認と日常

生活を送る上での生活相談。その他のサービスとして、食事の提供や清掃・洗濯などの家事サービス。また、介護保険サービスとしての認知症などの見守り、身体介護、服薬管理などが受けられる。

問 設置するとした場合、どのような条件をクリアしなければならないのか。

答 床面積は原則25平方メートル以上で、トイレ、洗面所などを設置し、バリアフリーであること。

問 入居費用は、どの程度と想定されるのか。

答 必ずかかる費用や、必要に応じてかかる費用によって違いがあるが、月々11万5千円から18万円となっている。

問 町として、この制度をPRするなど、推進する考えはあるか。

答 超高齢社会にあつて必要な住宅であるとの認識から、民間事業者に住宅制度の補助金や優遇税制、融資などPRに努める。



佐々木裕子 議員

Q 冠水対策の対処・整備等をどう考える

A 側溝整備や年次計画により冠水被害の軽減を図る



調整池となる清住2号公園隣接地

昨年は気象変動が激しく、ゲリラ豪雨に見舞われ、地域によっては大きな被害を受けた。梅雨の時期を前に、冠水対策はどう対処し、整備をするのか。

問 船岡西2丁目付近の冠水対策は。

答 平成25年度、実施計画を経て工事に着手する。

問 葛岡もみのき園付近の対策については。

答 2台の常設ポンプほか仮設ポンプ増設で対応。

問 鷺沼排水路の整備は。

答 大河原町と共同施工

で、25年度は調整池の設計・築造に必要な用地買収のほか、JR東北本線から旧国道4号線の区間の水路改修工事を実施。

問 用地買収は何件か。

答 清住2号公園に隣接する農地2件で、590平方メートルである。

問 鷺沼排水路と一体となっている周りの側溝部分についての整備は。

答 1期工事で、清住2号公園の調整池から白石川に向かう下流の水路改修が行われ、大住地区は2期工事で、八入地区の

側溝改修や直接幹線暗渠あんきょに抜くことを考えている。

問 大河原町との費用負担は、どのようなものか。

答 流量費で、案分率は、柴田町が43・4割、大河原町が56・6割となる。

問 用地費は、行政財産になることで、柴田町が負担すること、

問 工事中の冠水対策に、発電機をもう1台使用することについての考えは。

答 リース会社等に確認し、余裕があれば発電機を配備できるよう工夫する。

# 一般質問

**問** 町営住宅に手すりを設置する考えは。

**答** 今年度が高齢の入居者が多い神山前町営住宅に設置した。現在、階段に手すりがない西船迫・船岡駅前・槻木駅前町営住宅についても設置する。

**問** 町営住宅における孤独死等、緊急時に対する認識と対応について。

**答** 近隣住戸の入居者、住宅管理補助員、地区民生委員の方々との連絡調整により、孤独死等を未然に防止するよう努めて



有賀光子 議員

**Q** 町営住宅に手すりを設置する考えは

**A** 階段に手すりがない町営住宅すべてに設置する

いる。さらに、増加する高齢入居者について、健康状態等の現状把握も重要になってくると考え、地域包括支援センターなどの連携を密にしていく。

**問** 町営住宅の今後の維持管理について。

**答** 平成22年度に策定した町営住宅長寿命化計画の中で、町営住宅を、廃止すべき住宅、更新すべき住宅、維持すべき住宅の3つに分けている。廃止すべき住宅は、土手内町営住宅。更新すべき住宅



手すりをつけた神山前町営住宅

宅は、二本杉・並松・神山前町営住宅。維持すべき住宅は、西船迫・船岡駅前・槻木駅前・山下・北船岡町営住宅である。

並松町営住宅は、27年度には建て替え計画の作成と、政策空き家を開始する必要があると考えている。

## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

- 森 淑子 議員**
- 問** 高齢の方が人との交流や社会参加をしやすいように公共施設利用料にシニア料金設定を。
- 答** 時代のニーズに合わせて検討の余地があると思う。今後検討する。
- 水戸義裕 議員**
- 問** 人・農地プランでは、農地の貸し手、受け手の色分けが危惧されるのと、基盤整備の要望があるが。
- 答** 農業の将来のあり方が概ね決まり、理解が得られた。基盤整備も含め最大のプロジェクトである。
- 問** コミュニティFM局開局を。災害時の情報提供や地域文化の発信でコミュニティの再生を。
- 答** 特性を生かし、地域の生活支援情報を発信できるが、今の官民の体力では継続経営は困難。

- 大坂三男 議員**
- 問** 国の緊急経済対策を柱とする平成24年度補正予算は柴田町にどう影響するのか。
- 答** 本町で計画中の「さくら連絡橋整備事業」等の町負担金約4億2千万円の80%が補助される。
- 問** 老後の住まいとして、有料の老人ホームを希望する方がいる。町で誘致する考えはないか。
- 答** 現在の総合計画にはないが、老後の住まいの選択肢の一つとして、次期計画で検討する。
- 問** デマンドタクシーの利便性を増すために時間の変更や隣町の病院への運行は考えないか。
- 答** 中核病院への要望が多いのは承知しているが、課題等も多い。関係者と協議し検討する。

- 高橋たい子 議員**
- 問** 成人教育の「出会い・ふれ愛教室」をなぜ中止したのか。
- 答** 貴重な体験という意見も聞かれたが、年々参加者が減少し参加者ゼロとなり中止した。

- 白内恵美子 議員**
- 問** 高齢化が進み「傾聴」の必要性が叫ばれている。傾聴ボランティア養成講座の開催を。
- 答** 社会福祉協議会と連携し、平成25年度事業として3日間の基本コースを実施する。
- 問** 太陽の村にアスレチックやツリーハウス等を設置し、子どもたちの遊びの拠点にすべき。
- 答** 今後は都市と農村の交流拠点として、また町民の憩いの場として順次整備を進めていく。
- 問** 酷暑に備え、各小中学校の保健室と図書室に冷房を設置すべきでは。
- 答** 保健室は平成24年度の補正予算で実施、図書室は国の補助が受けられれば設置したい。

- 佐々木裕子 議員**
- 問** 観光地としての今後の施策・戦略等について。
- 答** 柚子製品やはなみちゃんグッズ販売。マスコミ各社、旅行会社、JR等へ誘客活動を行う。
- 問** 安全確保のため、船岡公民館前にカーブミラーの設置を。
- 答** 大河原警察署と協議し、カーブミラーの設置も含め、安全に有効な施設を検討する。

- 有賀光子 議員**
- 問** 子どもたちが登下校中に悲惨な事故に遭わないため、安全対策の取り組みについて。
- 答** 地区ボランティア見守り隊の協力、交通指導隊との連携のもと、さまざまな取り組みを実施。
- 問** 子育て支援の一環として、小児インフルエンザ予防接種助成に取り組みべきでは。
- 答** 国の定期接種化の動向を見きわめながら、前向きに検討していく。

# 常任委員会行政視察研修の報告

先進地に学ぶ



熊取町で議会基本条例の説明を受ける

## 議会運営委員会 平成24年7月12日(木)～7月13日(金)

- ◇大阪府熊取町議会
  - 議会基本条例における、自由討論の活用について
  - 議会運営について
- ◇奈良県生駒市議会
  - 議会独自の「災害対策本部設置要綱」と「災害対策行動マニュアル」について
  - 議会運営について

## 総務常任委員会 平成24年6月27日(水)～6月30日(金)

- ◇北海道由仁町
  - 官民競争入札における窓口業務の民間事業者への委託について
- ◇北海道ニセコ町
  - 「情報共有」と「住民参加」の主な取り組みについて



ニセコ町役場内、文書ファイリングで机上は整然



滝川市こどもセンター「め・も・る」内の研修風景

## 文教厚生常任委員会 平成24年8月8日(水)～8月10日(金)

- ◇北海道岩見沢市
  - 学校給食の取り組みについて
- ◇北海道滝川市
  - 滝川市こどもセンター「め・も・る」の概要について

## 産業建設常任委員会 平成24年10月9日(水)～10月11日(木)

- ◇長野県東御市
  - 上下水道窓口業務及び未収金整理業務の民間委託について
- ◇長野県小布施町
  - 小布施ブランドの育成について
- ◇新潟県妙高市
  - 耕作放棄地の再生利用に向けた取り組みについて



小布施ブランドのりんごジュース（6次産業センター内）



紫波町役場玄関前にて

## 議会広報常任委員会 平成24年10月31日(水)～11月1日(木)

- ◇岩手県雫石町議会
  - 議会だよりの編集について(平成23年度全国町村議会広報コンクール優良賞を受賞。横組みの議会だよりを発行している)
- ◇岩手県紫波町議会
  - 議会だよりの編集について(平成22年度全国町村議会広報コンクール優良賞を受賞)

# あなたの一言



加藤 幸恵さん  
(槻木東1丁目在住)

## ●柴田町に住んで良かった点は

仙台から夫の実家に嫁ぎましたが、町の皆さんのあたたかさ感謝しています。

下の子が中学生ですが、今まで地域の人たちにも目をかけてもらい、つくづくこの町に住んで良かったと思います。

## ●柴田町の好きな風景・場所は

船岡城址から眺める街並みが素敵ですね。特に桜が咲いている時期の景色は格別です。

あと、太陽の村から見下ろす街並みも四季折々の変化があり癒されます。

## ●町に何を望みますか

具体的にどうすれば良いかわかりませんが、町全体でもっと活性化してほしいですね。

## ●議会だよりを読んでいますか

いつも見出しを中心に斜め読みです。今度はちゃんと読みます。

## ●議会・議員に何を望みますか

もっと地域の意見や、若い人たちが意見を言いやすい雰囲気にしてほしいですね。

議員さんもなんか遠い存在のような気がして、意見があっても言う機会がなかったと思います。

未来へ向けて

## 編集後記

春の息吹を力強く感じる季節となりました。議会は、3月の議員選挙を経て新議員でスタート。議会広報常任委員会も新人議員5名を加えて7人での「議会だより」の編集作業となりました。議会の様子をいかに皆様に伝えるかは、大切なことであり、重い責任を感じつつも、試行錯誤の繰り返しに終始しました。特に、編集に不慣れなことで、盛りだくさんの内容で、紙面の構成に苦労いたしました。次号は、今号の反省と、これまで培ったことを活かし、より読みやすく、見やすくをモットーに、多くの町民の皆様に目をおしていただけるよう努力します。



議会広報常任委員

ご愛読いただきようお願いたしますとと、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

議会広報常任委員長 安部 俊三

## ぜひ、議会の傍聴を!!

6月議会は  
6月10日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は  
6月10日(月)・11日(火)・12日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

## 町ホームページ 本会議審議等結果を掲載

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況もあわせて掲載しています。

柴田町のホームページ  
<http://www.town.shibata.miyagi.jp>